

地域のがっこう(まちのがっこう)

特定非営利活動法人なごみ（関係課：地域担当課・地域学習推進課）

事業費 293,721 円
助成額 197,000 円

●当初の課題・事業目的

地域では、多様化する課題と住民ニーズを肌で感じながらも、地域活動者の高齢化と固定化の問題から、行動・活動として取り組めない現状があります。本事業を行う最終目標は、地域活動の新たな担い手づくりと地域力の活性化ですが、まず自分たちが暮らすまちに関心を持ち、住民同士がつながるきっかけづくりを目的とし活動します。住民が多世代で学び・つながり・まちのことを考える機会をつくることで、地域に新たな活力が生まれると考えています。



理事長 坪倉 勝

●事業概要

<概要>

地域活動の新たな担い手づくりと地域力の活性化に向けて、地域住民が自分たちの暮らすまちに関心を持ち、住民同士がつながるきっかけを作ることを目的に、住民が主体となり、年齢に関係なく地域のことを一緒に学ぶ「地域のがっこう」を実施する（2年目）。

<内容>

2年目の実施となる今年度は、全6回の授業実施と併せて、「担い手」の発掘・育成を重点テーマとし、授業のカリキュラム作りや企画段階から生徒が参加できる仕組みを取り入れました。また下半期には、住民がより関心の高い授業を実施し、参加できるように選択授業制を試行するなど『がっこう』としての体制作りと魅力アップを目指して活動しました。



●事業の成果・工夫した点

- ・ 昨年入学した 43 名の生徒の中で、8 名の方が企画段階から一緒に携わり、授業を実施することが出来ました。
- ・ 『がっこう』としての魅力を高め、発信するため、社会・家庭科・福祉と「教科」を設定して選択授業を実施したり、がっこう新聞の作成や動画での紹介 VTR を製作しました。

●苦労した点・今後の課題

今年度は、新規入学者増に苦戦しました。次年度は、子どもや親子での参加（入学者）を新たに巻き込めるように授業内容を工夫し、より多世代で授業を実施することが課題であると考えています。また、受講者が受け身にならず、主体的に参加できる体制や仕組みを引き続き実施し、様々な「担い手」の形を提案出来るようにすることが課題です。

●代表者の感想

地域内での担い手の発掘・育成は1～2年で出来るのではなく、多様な住民が参加出来る仕掛けと、個々のモチベーションによって関わり方を選べる仕組み、継続的に参加したくなる面白さが活動に必要なと感じています。1年1年の実践を積み重ね、今後もそんな活動をみんなで作っていきたいと思います。